



世代を超えて話し合う、それぞれの「未来」のこと。



高校卒業後 就職希望の人数

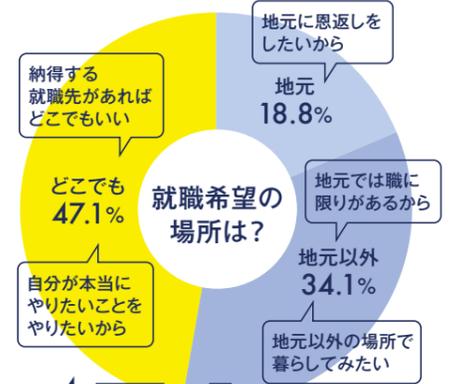
53名

地元の企業に就職してくれれば
地域の人手不足解消のカギに。

進学が就職が迷っている生徒も多く、現段階での感覚的な回答も含まれますが、53名は決して少ない数ではなく、彼らが地元就職を選んでくれれば地域の人手不足の解消にも繋がっていきます。ただし、公務員志望組を除いた数が企業への就職となるためその考慮も必要です。

「どこでもいい」は
地元に残ってくれる
可能性を持った層。

「どこでもいい」と回答した中には「まだ決めていないから」という理由の他、「就きたい仕事であれば場所は関係ない」「地元で就職したい職や企業がなければ他のまちに行く」という声がありました。「どこでもいい」層に企業PRをしっかりとここで働きたいと思ってもらえば結果として地元に着定してくれることになります。

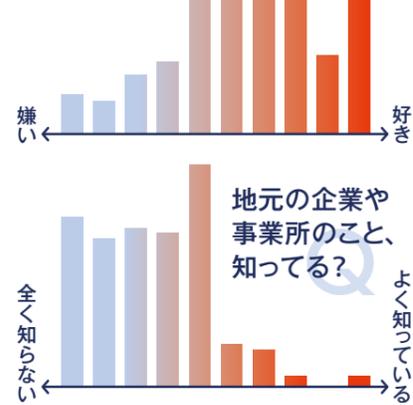


就職場所は
どこでもいい率 **47.1%**

地元は好きだけど
地元で働くイメージが
湧いてない。

地元企業のことをもっと知ることで、若年労働者の流出は一定数抑えられるのではないかと考えます。そのためには低学年から企業接点の創出・増加、地元企業情報を彼らに届けるような施策の実施(冊子やWEB・SNSでの情報発信)などに力を入れる必要があります。就職組だけではなく、一度進学で町を離れた学生に就職で戻ってこさせるためのアプローチにもなります。

日高エリアは好き？



「データから読み取る 高校生のホンネ」

就職する際、大切にしたい要素は

1位 **給与**

2位 仕事の内容(職業・業界)

3位 お休み/やりがい

5位 社長や上司の人柄

給与や休日では判断できないのは
まだ就きたい仕事が
具体的ではないから？

就きたい仕事が決まっていないと、給与や休日でもらうか判断するものがないため、彼らのなかでまだ就職が現実味を帯びてない状況であることがわかります。しかし親や先生が勧める企業や知名度だけではなく「自分で決めたい」という生徒も一定数おり、地元の中小企業も彼らの選択肢の中に入っています。といっても給与ベースの点検は必要。また社長や上司の人柄にも注目していることから、インターンシップや合同企業説明会の重要性も見て取れます。

憧れる大人がいない率

57.4%

目標や進路の動機になる
「ロールモデルの不在」は重要課題。

「いない」または「いる」と答えても具体的な理想のイメージを持っている生徒がほとんど。高校生が大人世代と接点を持つのは、親・先生・親戚。それ以外となれば塾講師や習い事の講師程度で終わってしまうケースが多い中で、アルバイト経験や学校主催の企業イベントなどで、未来のロールモデルを彼らに明示したり将来のために取り組むべき動機を形成させることが非常に大切です。

企業・事業所を知るために
高校生が思う「あったらいいなあ」

1位 **職業体験**

2位 商品開発・イベント企画を
企業と一緒に考える・実施する機会

3位 企業や仕事内容の紹介動画

4位 経営者さんとお話するイベント

「職業体験」が圧倒的多数の結果となりました。左記ランキングで紹介している他にも「地元企業のみなさんとグループディスカッション」や「企業や仕事を紹介する冊子」「地元企業や仕事を紹介するWEBサイト」「合同企業説明会・業界セミナー」「地元企業バスツアー」「企業紹介や就職に関わる講座やセミナー」などが回答としてありました。

高校生と働く大人の

放課後 Talk

Event Report



日高中部通年雇用促進協議会では、新ひだか町・新冠町在住の季節労働者(年間就業日数が200日未満で、繁忙期などの季節だけ仕事をしている方)の通年雇用化を促進し、地域経済活力の維持のため、厚生労働省からの委託を受け、雇用確保や就職促進に係る独自の支援事業を実施しています。
季節労働者への資格取得助成事業や求人情報提供を行うほか、例年、地域の事業所が、より積極的な通年雇用化に取り組めるよう様々なテーマでセミナーを開催しています。
令和3年度は「地元の高校生を会場に呼ぼうか!」の一言から始まり、高校生との交流によって、事業所の皆さんに地域の課題である人材確保や早期離職、若手人材教育におけるヒントを得てもらうため『高校生と働く大人の放課後トーク』を開催することとなりました。

初の開催となったこのイベント会場では、高校生も徐々に緊張がほぐれ、予想以上に活発なグループトークとなり、参加した大人からも高校生からも「楽しかった」「また参加したい」という声が多く寄せられました。
また、事前に行った高校2年生へのアンケート調査からは「地元の事業所のことをほとんど知らない」という実状がわかり、今回の企画のような地元で働く大人との出会いの場づくりや、地元事業所情報を届けることが大切だと感じました。
今後も季節労働者支援をはじめ、若手の地元就職促進や離職防止対策の取り組みなど、地域の雇用環境の改善を図り、産業・経済の発展をサポートしていきます。

高校生たちが知りたい大人のキモチ。



Q 高校生から大人たちへの質問
今の会社に就職した決め手やポイントを教えてください。



大人①：給与が気になっている人が多いみたいですが、私は全然気にしていません。学生の時、生活費を計算してみても、今のところの給料でもやっていけるってわかっていましたから。都会に出れば今よりも月10万円くらい多くもらえるような会社もありましたけど、給料より、「この人たちと働きたい！」と思ったところに決めました。インターンシップや会社見学で、どんな人がいるのか、楽しそうだと思うかなど、求人票では見えないところを見つけたことが決め手です。私の場合は給料よりも「一緒に働く人」が大事だと思わなりました。

大人②：高校生のうちにやりたいことを見つけるって大変だし、見つけられたのならスゴいこと。今日のようなイベントに参加したり、いろいろな人と会うことで本当にやりたいことを見つかると思います。だからどんなことでもいいからいろいろな人々に会ってみて下さい。

Q 高校生から大人たちへの質問
コミュニケーションをとるのが苦手なのですが、社会人になっても大丈夫でしょうか…？



大人①：「コミュニケーション」って聞くと、「話が上手な人」って思っていますか？実は話すことだけじゃなくても、「どうやって仕事に向き合っているのか」とも大事。一生懸命やっている姿をまわりで見せることも、一種の「コミュニケーション」なんです。たくさん話してるとか、仲がいいとかじゃなくて、頑張っている姿は意外とまわりのみんなが見てくれます。だから、無口でも、話すことが苦手でも全然大丈夫！一生懸命頑張っていたら、

Q 大人から高校生たちへの質問
就職したい業界や職種は決まっているの？



高校生①：最初はなんとなく公務員について考えていたけど、いろいろな部署があったりして合わないこともある気がして、転職のしやすさもあるので民間のほうがいいかなって思うようになりました。

高校生②：食品に関わる仕事がしたいです。いろいろ調べて考えて、「コジ」かと思えるところに就職したいです。

高校生③：まだ何も決めていません。これから考えたいと思います。

大人①：決まっている人も、決まっていない人も、今日みたいな会が少しずつ就職や業界についての理解が深まっていくんだと思います。高校生と社会人が関わる場がもっと増えていったらいいですね。

Q 大人から高校生たちへの質問
日高管内を出て都市で働きたいと思ってるの？



高校生①：東京まで行くところが怖いなって思いますが、札幌に出たいと思っています。札幌の方がモノもたくさんあるし暮らしやすそうに感じています。

高校生②：都市に出たいとは全く思いません。人混みが好きじゃないですし、実際、札幌に1週間くらい滞在した経験があるのですが、すごく疲れました…。

高校生③：日高エリアは好きですけど、自分が働きたいと思う会社に出えなかつたら、最終的には場所じゃないかなって思っています。

大人①：都会に比べて地元の良さがあることもあるし、地元で就職して転職して都会にでも人もいる。人それぞれなのかもしれないですね。でも地元にとんな会社があるのを知っておくことは絶対に良いことだと思いますよ。

自然と仲間が増えていきますから。

大人②：以前、経営者として安心して任せられるスーパー従業員さんがいました。でもコミュニケーション能力に長けた人ではありませんでした。常に怒っているんじゃないかと思ってしまったり(笑)。でも本当に信頼できる人で、仕事はヒカイチでした。コミュニケーション能力が仕事の全てではないですし、そんな突出した能力を持った人もいますので、安心して下さいね。

Q 高校生から大人たちへの質問
男性・女性で採用する職種、しない職種はありますか？



大人①：今は法律でも決められていないように、男性だから、女性だからということでは採用を考える時代ではないと思っています。弊社は建設業ですが、泥だらけに



Q 大人から高校生たちへの質問
入社して嫌だと思ってもどくらい頑張ろうと思ってるの？



高校生①：3年くらいは最低でも頑張ろうと思っています。

高校生②：1年半が限界でしょうか。まずは1年頑張ってみて、ダメかもって思ったら半年くらい改めて考えながら働いて、ダメだったら辞めるって感じかな。

大人①：個人的な経験からすると、5年くらいは頑張ってみようがいかなくてアドバイスです。なにか嫌なことが仕事であつても、それを上回るいいことも仕事を続けていたらあるから。1年とか2年とかじゃ、それが見えてこないような気がします。でもそんなことを考えなくてもいいように、就職する会社をしっかり選ぶことが何よりも重要ですね。

なつて力仕事をするような仕事ではないのに、男性の仕事と思われているのは残念なこと。ICT化も進んでいて、レバーを操作するだけで勝手に機械が仕事をしてくれたりもしますから、女性の方にも興味をもってもらいたいですね。現場でもキレイなお手洗いを設置したり、シャワールームを完備したり、禁煙にしたりと環境の改善も進んでいます。

大人②：「事務」をやりたいという女子学生に会うことが多いのですが、うちの会社に入りたいのではなく、事務職をした方がいい気がします。何をしたいのか決まらなかったからかな。事務の仕事はIT化でどんどん減っていますし、いろんな業界や職種にも目を向けてくれる学生さんが増えることを願っています。新卒採用は入社した後にどれだけ吸収してくれるのが大事。自分に芯があつて、楽しんで働いてくれる人がいいな。

Q 高校生から大人たちへの質問
就職活動の準備。何から始めたらいいですか？



大人①：「自分と向き合う時間」をまずはつくって欲しいと思います。就職活動でよく出くわすことなんです。面接で「あなたの強みは何ですか？」と聞かれます。今はそんな質問されても、「うわー」ってなると思うんです。だから自分自身と向き合つて、やりたいこととか、強みとかを洗い出して欲しいなって、自分の嫌なところも見えてきて、へこんだりもするかもしれないけど、社会人になつたら、「そんな時間も大切だったんだな」って、思うようになりましょう！

大人②：自分が働く会社を探すのだから、勤務時間や休み、昇給はどうなっているのか調べることもとても大事。他にもどんな人が働いているのかとか、調べてみて初めてわかることがあるかもしれない。もし就職したい業界がないのであれば、家の近くだけでも調べながら自分が見たいことを探すことが就職活動の第一歩なのかなと思います。

Q 大人から高校生たちへの質問
就職先は何を一番重視して選ぶうと思ってるの？



高校生①：自分の時間として休日がしっかりあるのか？を大事にしたいと思っています。

高校生②：給与と休日をしっかり見比べようと思っています。あと清潔な環境かどうか大事です。

高校生③：まだ就職することが具体的にイメージできていないので、何を重視しているかわからない状況です。

大人①：労働条件を重視するのは自分の権利なんだから重要。でも労働条件だけで選んじやうと失敗することも多いので、自分が働くことをイメージできるの、楽しく働けるのかもチェックしてください。

Q 大人から高校生たちへの質問
インターンシップを体験して就職を決めたい？



高校生①：もしインターンシップに行かせてもらえるのであればぜひ体験したいです！参考になります！インターンシップを経て、やっぱり何か違うって思うこともあるかもしれないんですけど、入社してすぐ辞めてしまつたりも、いいことな気がしています。

高校生②：職業体験もぜひしたいところですが、それだけで就職先を決めたいと思います。スマホでWebやSNSから情報収集したり、人に聞いたり、親や先生にも相談して就職先を考えていきたいです！

大人①：就職活動って、高校生もそうだけど、企業も不安なんです。ウチの会社に応募してもらえないだろうかっていうのもありますし、ウチの会社で働けて良かったらって思ってもらえるのかも考えますし、お互いにズレのないマッチングができればいいですね。

参加企業の感想

●みんなしっかりとしていて、イマドキの高校生のみなさんが、就職活動に何を参考にしているのかを聞くことができました！●どうやって高校生のみなさんに情報発信して良いのかのヒントをつかめました。もつとホームページやSNSを充実させないと、会社のことを知らしてもらえないと反省しました。●高校生のみなさんのしっかりした姿勢がとても良かったですし、大人側にもなる貴重な機会でした。●緊張していたのかな？それとも時代が変わってきているのかな？周りの目とか気にしないで、もつとはじけちゃつてもいいのって思いました。大人とも楽しくやつて欲しいな。●高校2年生は、まだ働くことをモヤッとしていたり知らないんだなということを知りました。働く意識もまだまだこれからだと思いますので、少しでも私たちが助けになることがあるのであれば、協力したいと思いました。●自分が高校生の時とは比べものにならないくらいしっかりしている学生さんたちだと感じました。●合同企業説明会はこれまでたくさん経験があるけれど、こんな感じでフランクに話せたことはありませんでした。一方的に会社のことを説明するよりもいい機会だったと思いました。●自分が働く業界のことを上手く伝えられなかったと反省しています。高校生だけじゃなくて、大人たちも成長しなくてはいけません。高校生も大人も関係なく、いい地域をつくっていききたいですね！

〈参加事業者〉

酒井建設(株)、榊前田ファーム、静内産業土建(株)、ケイセイマサキ建設(株)、南静内ケアセンター、南オカダスタッド、榊出口組、ひだかトヨタ自動車販売合同会社、ヘアーサロンニギシ、フットルース、グループホームゆーあい天馬、日高信用金庫、(株)静内ベテカリこどもサポートほっぷ、みついし農業協同組合、幌村建設(株)、南田畑印章房、さくら佐藤建設(株)、中地牧場、しずない農業協同組合



大人たちが知りたい高校生のキモチ。



DISCUSSION

ジモトで働く若者 Interview

児童
支援員の
シゴト

社会福祉法人 静内ペテカリ こどもサポート ほっぷ

社会福祉法人 静内ペテカリさんは、障がいを持った方々の支援を中心に、10施設を運営しています。取材におじゃましたのは、子どもたちの支援をしている「こどもサポートほっぷ」という高静小学校の横にある施設。「子どもたちの笑顔のために」全力で仕事をしているお二人からお話を聞きました。



静内農業高等学校卒
半田 紗椰さん(25)



静内高等学校卒
吉田 啓介さん(23)

自信が持てることをみつけ、
やり続けることが大事。

◎ 静内高等学校卒 吉田 啓介さん

僕の親が子どものころから、世の中にあるような職業を教えてくれました。そのなかには作業療法士という仕事があることを知り、すぐに将来の夢になりました。ただ、その仕事をするためには地元を一度離れて学ばないといけないということもわかっていました。でも、中学校時代から大人になってもこの町に住み続けたいと強く思っていたので、戻ってくるというのも決めていたことでした。静内高校を卒業後、恵庭市の北海道文教大学に進学。予定通り就職で地元に戻ってきました。

「こどもサポートほっぷ」は、障がいや悩みを持ったお子さんたちが、学校終わりやご家族と一緒にいられない時間に来てもらう、第2の家のような居場所。だから病院やリハビリセンターの先生でもトレーナーでもなく、一緒に過ごすお兄さんとお姉さん。いい意味で働いている職員が仕事で感じられない雰囲気や自然体のままそこにいるっていうのが、職場見学をさせてもらった瞬間にわかりました。ここにきた子どもたちがその子らしく育ってもらうために全力で働いているっていう雰囲気に自分も加わってみたいという本気で思いました。

実際に働いてみて、現場は本当に楽しいです。動き方も時間の融通がきくところもありがたいです。たくさん働いた週は次の週は減らせるといった裁量もいただけていて、自分が好きなことをするために時間を調整させてもらっています。

高校生のみなさんには、まず就職活動でも働き始めてからでもそうですが「頑張るべきなこと」というのをお伝えしたいです。そして、好きかどうかは別として、どんなことでもいいので、自分の自信があることをみつけて、やり続けていくという考え方も大事だと思います。

興味を持ったなら、まずはやってみる！

◎ 静内農業高等学校卒 半田 紗椰さん

私は新ひだか町静内出身で、静内農業高校の食品科学科の卒業です。就活ではいろいろ調べていくうちに宿泊業界にもすごく興味がでて、ホテル関係に就職しました。新

時にはちょっと離れて、でも視界には入るように。
子どもの気持ちを尊重しながら寄り添っています。



ひだか町を飛び出して、ものすごく田舎の町で働きはじめたんです。接客やマナーなど、社会人生活で多くのことを経験させてもらいましたが、しばらく働いた後、静内ってなんでも揃っていて便利な町だったんだーと気がつき、それでいて静かな環境もあり気候も落ち着いている。やっぱり地元がいいなと感じて新ひだか町に戻ってきました。生まれ故郷を一度出たからこそわかったこともたくさんありました。

その後、さまざまな仕事を経験したあと、ボランティア活動でも関わったことのあるこちらに縁あって働くことになりました。子どもたちと遊ぶのが仕事ですから、一緒にゲームしたりお話ししたりして感じの毎日です。でも責任もある仕事ですから、どんな時でも目を離さないように気を付けて、その日の出来事や気がついたことなどを記録してご家族に報告するというのが重要なお仕事としてやっています。

高校生のみなさんにお伝えしたいのは、何かに興味を持ったのであれば、絶対にやってみてください！やってみないとわからないことって世の中にたくさんありますから。良いことだけじゃないかもしれないけれど、そこで得られる経験とか知識って必ず人生で役に立ちます。そして、もしダメだったとしても何度でもやり直しをする自由が全ての人にありますからね。まずはペテカリにボランティアにきて欲しいな。どんな人たちが働いていて、どんな人たちを利用していいのかを知ってもらってだけでも嬉しいですよ。

おじいちゃん記事が
「おじいちゃん」に配信中です！



インターンシップや先輩を通して
給料や条件だけじゃない会社選びを。

◎ 静内高等学校卒 藁谷 竜さん

今、20歳です。「地図に残る仕事」なんだって聞いて、土木業界で働きたいって強く思うようになりました。親からは大学に行ったらというアドバイスもあってたんですけど、座学で学ぶよりも、現場で働きながら学びたいって思って、高卒で就職することを決めました。

正直、高校生のころは、何も考えずに学校に通って、家に帰ってご飯食べて寝る…そんな日常の繰り返しだったような気がします。卒業して就職して、守ってくれていた親から離れて一人暮らしを始めてわかったのですが、自分でお金を稼いで生きていくことが当たり前になるんです。そうして初めて、本当にお金のありがたみがわかるようになりました。そして、自分がその給料分の仕事ができているのかどうかを考えるようになって、ただでいい給料分の仕事をしなくちゃって、それが社会人ってことなのかもしれないんですけど、大きく気持ちの変化が起きました。だからこそ給料が高いか安いかわかることだけで就職先を選ぶのはやめた方がいいんじゃないかって高校生にはアドバイスしたいです。会社訪問とかインターンシップとか働いている先輩を見つけて話を聞いてみるのとかなら、条件だけじゃない会社選びをして欲しいですね。

調べるうちに、自然のなかで働ける
土木の仕事に魅力を感じました。

◎ 浦河高等学校卒 中野 慎吾さん

就職したばかりの入社1年目18歳です。就職活動をする前までは、土木の仕事って大変そうなくイメージがあったんですけど、よく知らなかつたので、なんとなく見聞きした情報からそう思っていたんですけど、でも調べていくうちに、土木の仕事は大自然のなかで働けるっていう楽しさに気がついていきました。外の仕事や自然溢れる広いところで働きたいなって思ったのは、野球部だったというのも影響してるのかも(笑)働いてみて想像よりも厳しい、キツいってことはありませんで、毎日成長を感じられています。自然が職場ですので、雨の日ももちろんありますが、カッパを着て現場に立ちます。

それも大変に思ったことはないです。ただ、さすがに今年度は雨が全然降らなくて、ものすごく暑い日が続きましたのでそれは結構こたえました。

僕はコロナ禍だった中での就活となりましたのでわかるのですが、たぶん普通の世の中の時よりも、会社とか仕事の情報をつかみづらいんです。でも高校生のみなさんには、あせらないで、本当にやりたいことってなんなのかを固めていって、決めてもらえたらいいんじゃないかなって思います。就職でも進学でも、迷うことがたくさんあっていいと思いますので、頑張ってください！

特に目標がないなら、
まずは地元で働くのも選択肢。

◎ 静内高等学校卒 石岡 智哉さん

高卒入社8年目です。高校生時代を思い返すと何も考えてなかったなあって(笑)。3年生の就活時期になってから、いよいよやばいぞってなつたのですが、自分が何をしたいのかわからない、どんな会社があるのかも知らない。なので、求人票で見ていたのは「給与」の欄になっていました。正直に言うと、給料が高いなと思って気になったのが幌村建設でした。そこをベースに、同じくらいの給料の会社を比較していたのですが、幌村建設の求人票には難しそうなお仕事内容が書いてあって気になつたんです。普通はそういう企業を避けるのかもしれないんですけど、むしろそれに挑戦してみたいって思っちゃったんです(笑)。カラダを動かす仕事もしたかったし、パソコンも好きだったので、事務仕事もあるって書いてるし、ここにしようって。よく考えたらビックリな就活ですよ(笑)。

自分の場合、高卒で就職して地元に残る選択をしたのは正解だったと思っています。知り合いでも目的を持たずに進学した人たちのなかには、結局、何も見つけられなくて正社員になつてない人たちがいるじゃないですか。特に目標がないなかでなんでも進学するなら、親の負担にもなるし、地元で働いてみるという選択をもっと考えてみてほしいんじゃないかって、高校生のみなさんにはアドバイスしたいですね。

おじいちゃん記事が
「おじいちゃん」に配信中です！



施工
管理者の
シゴト

幌村建設 株式会社

新ひだか町三石に本社を構える「幌村建設株式会社」さん。「建設」と社名につくものの、土木工事を主とした事業を地域で展開しています。高校を卒業と同時にこちらに就職した3人からお話を聞きました。「建設・土木って大変そう」「興味ない」そんな方にこそ知ってもらいたいお話です。



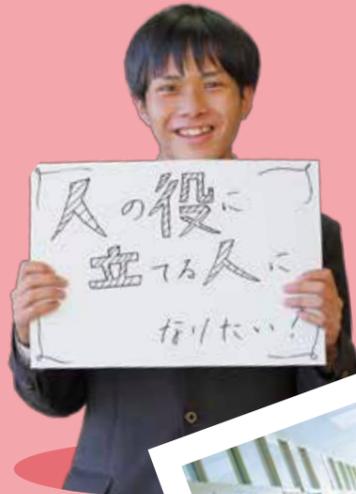
静内高等学校卒
藁谷 竜さん(20)



浦河高等学校卒
中野 慎吾さん(18)



静内高等学校卒
石岡 智哉さん(26)



私たちの将来の夢



Our Dreams



WEBメディア「くらしごと」にて
静内高校、静内農業高校の
記事がご覧いただけます

静内高校の
記事はコチラ



静内農業高校の
記事はコチラ

